

授業科目名	体育実技		担当教員名	安井 嘉佑
科目区分	基礎科目	施行規則に定める科目区分等	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目-体育(実技)	
必修-選択/単位数	必修 / 1単位 (30時間)		授業方法/担当形態	実技 / 単独
開講学年/学期	1年 前期 (1-2期) / 年間開講数 1講座		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 ジュニアスポーツクラブ指導者としての実務実績を活かして、現場での指導経験を生かした授業を行う。
授業の概要及び全体目標	必要な基礎体力を養い、運動の各種の動きを実際に行うことにより自身の体力向上を目的とし、同時に子どもの指導に繋がる様に体得していく。また、身体の仕組みと動きを理解し、体力のトレーニングにもつなげていく。			
到達目標	自ら体験実施することで、体育の楽しさや達成感を味わい子どもの指導につなげる。 (1) 基礎運動の知識と実施方法 (2) ゲームの理解と実施方法 (3) 子ども向け配慮と実施方法 (4) 達成感の感じ方			
テキスト	「幼児期の運動あそびと健康-理論と実践-」高木信良編著(不昧堂出版)			
参考書・参考資料等	「体育指導の基本」Q&A			
成績評価の方法	授業参加態度等…10%、平常点…20%、理解度チェック等…20%、実技チェック…50%			
授業外(事前・事後)学習の方法、オフィスアワー等				
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	授業内容の説明。体育(指導)のあり方と接し方 身体の仕組みと働き・体カトレーニングの原理と原則・トレーニングの種類			
第2回	スキルトレーニングについて 体操・柔軟、縄跳び(前跳び・後ろ跳び)、スキップ(バックスキップ・ツーステップ)			(1)
第3回	体力を構成する要素 体操・柔軟、スキップ指導法・バックスキップ指導法・ツーステップ指導法、大縄跳び(8の字とび・全員跳び)			(1),(2),(3),(4)
第4回	トレーニングによる呼吸循環器系の働きについて 体操(ラジオ体操)・柔軟、大縄跳び(ダブルダッチ・ダブルダッチ指導法)			(1),(2),(3),(4)
第5回	トレーニングによるエネルギーの供給について 体操・柔軟、球技(バスケットボール・正式ルール・ドリブル・シュート等)			(2),(4)
第6回	スポーツバイオメカニクスについて 体操・柔軟、バスケットボール(基礎ルール)、子ども用ルールで(ポートボール)実施等			(2),(3),(4)
第7回	バドミントン(正式ルール・サブ・ラリー・ゲーム等)			(2),(4)
第8回	バドミントン(基礎ルール・子ども用ルールで実施)			(2),(3),(4)
第9回	ボール遊び：ドッチボール(正式ルール・子ども用ルールで実施)			(2),(4)
第10回	ボール遊び、ボールを使った遊び			(2),(3),(4)
第11回	ハレーボール：正式、ルール・トス・サブ・ゲーム等			(2),(4)
第12回	ハレーボール：基礎ルールでゲーム、子ども用ルールを変えてゲーム実施			(2),(3),(4)
第13回	ニュースポーツ：キャッチング・ザ・スティック、ヒートロープ			(2),(4)
第14回	実技発表の説明。総合復習(指導法・安全配慮)			
第15回	実技発表(課題:スキップ・バックスキップ・ツーステップ、縄跳び(前跳び・後ろ跳び・二重跳び)、バスケット(ドリブル・シュート)、ハレーボール(サブ・パス)、ニュースポーツの考案)			